

水資源の保全



2023年度の進捗

- ミツビシ・モーターズ（タイランド）・カンパニー・リミテッド（MMTh）における塗装設備用空調機の結露水の再利用開始
- 京都製作所 京都工場におけるマンホール型油水分離ますの設置

〈関連ページ〉

P12 三菱自動車のマテリアリティ

P15、P17 マテリアリティ

P26 環境マネジメント

P118 製品・事業活動関連環境データ

(WEB) 大気・水質・PRTR対象物質データ (2023年度実績)
https://www.mitsubishi-motors.com/jp/sustainability/esg/factory_archive2023.html

基本的な考え方

人口の増加や、気候変動による自然環境の変化により、水需給がひっ迫する地域が拡大しており、水資源の保全に対する社会の関心は年々高まってきています。

三菱自動車は、自動車の生産活動において、工業用水、上水（市水）、地下水などを使用しており、下水道や河川などへ排出しています。水リスクの高い地域では、事業活動への影響や取水及び排水が周囲の環境に与える影響に配慮することが不可欠です。

各事業所では、排水水質などの各種法的要求事項を遵守するとともに、水資源管理に関する各国・各地域の情勢などを踏まえて、取水量の低減・水リサイクル技術の導入などに取り組んでいます。

各工場の取水源と排水先

工場	取水源（工業用水、上水、地下水）	排水先
岡崎製作所（愛知県岡崎市）	矢作川	神田支川→鹿乗川
京都製作所 京都工場（京都府京都市）	琵琶湖	下水道
京都製作所 滋賀工場（滋賀県湖南市）	琵琶湖	下水道
水島製作所（岡山県倉敷市）	高梁川	八間川→水島港
ミツビシ・モーターズ（タイランド）・カンパニー・リミテッド（MMTh）	ノンブライ貯水池など	下水道
ミツビシ・モーターズ・クラマ・ユダ・インドネシア（MMKI）	ジャティルフル湖	下水道

また、当社の取引先の操業においても水は不可欠であり、バリューチェーン全体での水リスク管理の重要性を認識しています。

取水量の低減

当社グループでは、生産工程で使用した洗浄水の予備洗浄への再利用、冷却水や温調用水の循環利用などにより、取水量の低減に努めています。

岡崎製作所及びミツビシ・モーターズ・クラマ・ユダ・インドネシア（MMKI）では、雨水貯留タンクを設置し、雨水の再利用も行っています。

また、岡崎製作所では地下水をろ過する設備を設置しており、災害発生などによる断水時には工場近隣の方々にも飲料水を提供できるよう備えています。

▶ DATA (P120)：取水量



雨水貯留タンク（岡崎製作所）



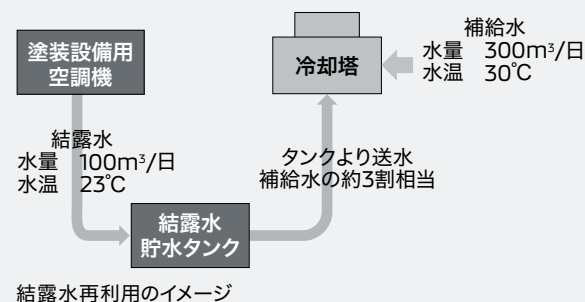
地下水膜ろ過設備（岡崎製作所）

TOPICS

塗装設備用空調機の結露水の再利用 (MMTh)

ミツビシ・モーターズ・(タイランド)・カンパニー・リミテッド (MMTh) で車体塗装設備用空調機より排出される結露水の再利用を開始しました。

タイは1年を通して高温多湿な環境で、空調機の除湿工程から安定的に結露水が得られます。この結露水を貯水タンクに回収し、冷凍機用冷却塔への補給水の一部として再利用することにより、冷却塔への補給水の約3割に当たる100m³/日程度の給水量を削減できました。更に低温度(約23℃)の結露水を活用することで、冷却塔の冷却効率向上にも寄与しています。



設置した結露水貯水タンク

排水の再利用

三菱自動車グループでは、各事業所の所在地の水資源管理に関する情勢などを踏まえて、排水リサイクル技術を導入しており、現在、ミツビシ・モーターズ・クラマ・ユダ・インドネシア (MMKI) とミツビシ・モーターズ(タイランド)・カンパニー・リミテッド (MMTh) で、排水リサイクルプラントが稼働しています。

MMKIでは、2017年の工場設立時より水リサイクルプラントを導入しており、2023年度における排水のリサイクル率は67%でした。

また、MMThでは、新塗装工場の稼働開始に合わせ、2022年1月からMMTh初の排水リサイクルプラントが稼働を開始しました。2023年度の排水リサイクル率は84%でした。

▶ DATA (P120) : 排水量



排水リサイクルプラント (MMTh)

水質汚濁の防止

当社は製作所周辺の水域の水質汚濁防止のため、法的要求事項にもとづいた排水水質の測定・管理に加え、地下水の水質や土壌汚染の調査・確認を定期的に行い、有害物質が敷地外へ拡散していないことを確認しています。また、雨天時などに水質異常を速やかに検知するため、工場から公共用水域への放水口手前、油膜検知器(※)を設置し常時監視しています。事故などが発生した場合は、直

ちに拡散防止策を講じるとともに、行政へ報告し、地域へ情報を公開します。

※ 油膜検知器：油の反射率が水の反射率より大きい性質を利用し、反射率の変化をキャッチして油膜の浮遊を検知するもの



水質観測用井戸 (岡崎製作所)



油膜検知器 (岡崎製作所)

TOPICS

マンホール型油水分離ますの設置 (京都製作所)

京都製作所京都工場で、油膜検知器の手前にマンホール型油水分離ますを設置し、工場内の路面などからの汚濁物質の漏えい防止対策を強化しました。

従来より、油膜検知器によって工場内の雨水放流口からの油分漏えいを監視していましたが、交通量の多い道路や工場、商業施設などに活用されている『非特定汚染源対策』の事例を参考に、雨水の排水経路の油膜検知器の手前に新たにマンホール型油水分離ますを設置しました。これにより、雨天時の路面排水から浮遊物質(SS : Suspended Solids)、油を分離して放流することができるようになりました。



雨水の排水経路に設置したマンホール型油水分離ます